



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9845 URL <https://www.parkercorp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 TEL 03-5644-0600
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	32,427	18.4	2,092	43.3	2,312	38.8	2,332	120.6
2023年3月期第2四半期	27,388	12.8	1,460	2.8	1,665	1.7	1,057	9.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,176百万円 (25.0%) 2023年3月期第2四半期 3,341百万円 (95.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	93.26	—
2023年3月期第2四半期	42.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	67,376	42,970	59.8
2023年3月期	60,160	39,044	60.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 40,315百万円 2023年3月期 36,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2024年3月期	—	11.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,600	19.0	3,500	△4.2	3,800	△0.2	3,300	33.1	131.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 3社（PARKER AMERICAS INC.（アメリカ）・PARKER AMERICAS de MEXICO S. de R. L. de C. V.（メキシコ）・天津コンフォート自動車部品製造有限公司（中国））、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	26,801,452株	2023年3月期	26,801,452株
2024年3月期2Q	1,786,465株	2023年3月期	1,791,665株
2024年3月期2Q	25,012,016株	2023年3月期2Q	25,053,743株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、個人消費や設備投資など国内内需が幅広い分野で増加し、景気は緩やかな回復の動きで推移しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めを背景とした世界経済の減速懸念、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、地政学リスクの高まり等、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主力の取引先である自動車業界は日本国内では半導体の供給制限の状況の緩和により、自動車の生産台数は増加しておりますが、主力市場である中国では経済の減速に伴う自動車販売の不振により業績が悪化しております。

このような状況のもと当社グループは、社会情勢の変化や需要を的確に捉え、将来を見据えた幅広い視野を持ち、高い付加価値が込められた製品を提案すること、そのような付加価値を創出する「コト作り」に注力した製品開発に繋げ、更に高いレベルでの技術サービスの提供とグローバル化を推進し、M&Aによる事業領域の拡大など、持続的な成長と顧客の信頼を獲得するよう努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32,427百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は2,092百万円（同43.3%増）、経常利益は2,312百万円（同38.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は事業買収した会社の取得に伴う負ののれん発生益834百万円の影響により、2,332百万円（同120.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

国内の製粉機械輸入販売は円安と大型受注案件が下期に移行した影響を受けましたが堅調に推移しております。自動車業界向け設備は計画外の設備や改造工事の受注により増益となりました。

当部門の売上高は、1,158百万円（同5.7%減）、営業利益は27百万円（前期は8百万円の営業損失）となりました。

・化成品部門

自動車業界向けの製造販売は、国内におきましては半導体の供給制限が緩和され自動車生産台数が増加したことにより増収増益となりました。一方、主力市場である中国ではEV化推進による中国ローカルメーカーの台頭等により業績が悪化しました。

当部門の売上高は13,688百万円（同39.8%増）、営業利益は478百万円（同118.2%増）となりました。

・化学品部門

国内外市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売は、国内の経済の正常化に伴い、鉄鋼関連の売上は増収となりましたが、海外の経費の増加等により減益となりました。

当部門の売上高は3,215百万円（同4.8%増）、営業利益は94百万円（同11.3%減）となりました。

・産業用素材部門

自動車用防音材の製造販売は、国内におきまして半導体の供給制限の緩和により自動車生産台数が増加したことにより増収増益となりました。

家電用防音材の製造販売は、国内では部品供給の影響により減産となり低調に推移しました。海外では前期にありました上海ロックダウンの影響がなくなったことにより増収となりました。

当部門の売上高は9,453百万円（同15.9%増）、営業利益は1,028百万円（同45.2%増）となりました。

・化工品部門

国内外のファインケミカル製造販売は、電子デバイスの需要低迷による部材の在庫調整等の影響で減収減益となりました。一方、国内カーケアケミカルや産業用ケミカルの製造販売は、社会経済活動の正常化により堅調に推移、加えて比較的大型の洗浄装置の検収もあり増収増益となりました。

当部門の売上高は3,210百万円（同6.0%増）、営業利益は351百万円（同14.0%増）となりました。

・その他部門

その他部門は主に化学原料の輸出入が減少したことにより減収減益となりました。

当部門の売上高は1,700百万円(同19.5%減)、営業利益は110百万円(同11.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 当期の財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、新規連結企業の影響もあり前連結会計年度末と比べ7,215百万円増加し、67,376百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(1,012百万円)がありましたが、受取手形及び売掛金の増加(2,943百万円)、原材料高騰による商品及び製品の増加(399百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(856百万円)、流動資産のその他の増加(1,594百万円)、主に新規連結等による有形固定資産の増加(1,659百万円)、投資有価証券の増加(500百万円)によるものです。

負債合計は新規連結企業の影響もあり前連結会計年度末と比べ3,288百万円増加し、24,405百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(1,385百万円)、流動負債のその他の増加(928百万円)、固定負債のリース債務の増加(814百万円)によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ3,926百万円増加し、42,970百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(2,107百万円)、為替換算調整勘定の増加(1,188百万円)によるものです。

② 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ、1,447百万円の減少の13,616百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,149百万円(前年同期は1,657百万円)、負のれん発生益834百万円、売上債権の増加517百万円(前年同期は161百万円の増加)、棚卸資産の減少302百万円(前年同期は648百万円の増加)、仕入債務の増加255百万円(前年同期は24百万円の増加)、法人税等の支払額743百万円(前年同期は316百万円)等により、1,666百万円の収入(前年同期は1,538百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、自動車用製造設備等による有形固定資産の取得による支出325百万円(前年同期は425百万円)、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,772百万円等により、2,720百万円の支出(前年同期は422百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額による支出171百万円(前年同期は164百万円の収入)、長期借入金の返済による支出207百万円(前年同期は417百万円の支出)、配当金の支払225百万円(前年同期は176百万円)等により、1,043百万円の支出(前年同期は311百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画(2023年8月7日付業績予想および配当予想に関するお知らせ)に修正はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,002	16,989
受取手形及び売掛金	13,491	16,435
有価証券	14	13
商品及び製品	4,343	4,742
仕掛品	462	580
原材料及び貯蔵品	2,322	3,179
その他	986	2,581
貸倒引当金	△9	△85
流動資産合計	39,613	44,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,054	11,353
減価償却累計額	△6,316	△7,623
建物及び構築物(純額)	3,738	3,730
機械装置及び運搬具	9,058	11,060
減価償却累計額	△7,177	△9,201
機械装置及び運搬具(純額)	1,881	1,858
土地	6,473	7,171
リース資産	1,077	2,221
減価償却累計額	△532	△779
リース資産(純額)	544	1,441
建設仮勘定	108	264
その他	4,407	4,912
減価償却累計額	△3,486	△4,052
その他(純額)	921	860
有形固定資産合計	13,667	15,327
無形固定資産		
のれん	311	259
借地権	128	179
その他	225	207
無形固定資産合計	665	646
投資その他の資産		
投資有価証券	4,409	4,910
長期貸付金	242	242
繰延税金資産	109	114
その他	1,537	1,783
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	6,213	6,965
固定資産合計	20,547	22,938
資産合計	60,160	67,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,569	9,955
短期借入金	2,601	2,410
1年内返済予定の長期借入金	304	242
リース債務	252	328
未払法人税等	768	701
賞与引当金	754	882
その他	2,082	3,010
流動負債合計	15,332	17,531
固定負債		
長期借入金	2,027	1,999
リース債務	347	1,162
繰延税金負債	1,272	1,492
役員退職慰労引当金	134	129
退職給付に係る負債	1,897	1,979
資産除去債務	24	32
その他	80	78
固定負債合計	5,784	6,873
負債合計	21,116	24,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,517	2,518
利益剰余金	28,419	30,527
自己株式	△650	△648
株主資本合計	32,487	34,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,949	2,276
繰延ヘッジ損益	△42	△0
為替換算調整勘定	2,251	3,439
その他の包括利益累計額合計	4,158	5,716
非支配株主持分	2,398	2,655
純資産合計	39,044	42,970
負債純資産合計	60,160	67,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	27,388	32,427
売上原価	21,131	24,791
売上総利益	6,257	7,635
販売費及び一般管理費	4,797	5,543
営業利益	1,460	2,092
営業外収益		
受取利息	30	61
受取配当金	72	57
為替差益	77	117
持分法による投資利益	23	29
その他	57	101
営業外収益合計	262	367
営業外費用		
支払利息	37	75
税額控除外源泉税	—	36
その他	19	35
営業外費用合計	57	147
経常利益	1,665	2,312
特別利益		
固定資産売却益	7	3
負ののれん発生益	—	834
特別利益合計	7	838
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	12	—
特別損失合計	15	1
税金等調整前四半期純利益	1,657	3,149
法人税等	490	653
四半期純利益	1,166	2,495
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,057	2,332

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,166	2,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	269
繰延ヘッジ損益	△10	42
為替換算調整勘定	2,087	1,265
持分法適用会社に対する持分相当額	93	104
その他の包括利益合計	2,175	1,681
四半期包括利益	3,341	4,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,025	3,891
非支配株主に係る四半期包括利益	316	285

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,657	3,149
減価償却費	783	1,011
のれん償却額	51	51
負ののれん発生益	—	△834
投資有価証券評価損益(△は益)	12	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	△86
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	21
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6	△4
受取利息及び受取配当金	△103	△119
支払利息	37	75
持分法による投資損益(△は益)	△23	△29
有形固定資産除却損	1	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△5	△3
為替差損益(△は益)	158	△150
売上債権の増減額(△は増加)	△161	△517
棚卸資産の増減額(△は増加)	△648	302
仕入債務の増減額(△は減少)	24	255
その他	△7	△700
小計	1,784	2,422
利息及び配当金の受取額	107	77
利息の支払額	△36	△89
法人税等の支払額	△316	△743
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,538	1,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△425	△325
有形固定資産の売却による収入	24	6
無形固定資産の取得による支出	△20	△25
投資有価証券の取得による支出	△32	△5
長期貸付金の回収による収入	1	—
定期預金の増減額(△は増加)	57	△367
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,772
その他	△27	△232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△422	△2,720

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	164	△171
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△192	△410
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△417	△207
自己株式の取得による支出	△105	—
配当金の支払額	△176	△225
非支配株主への配当金の支払額	△21	△28
セール・アンド・リースバックによる収入	237	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311	△1,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	878	559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,683	△1,537
現金及び現金同等物の期首残高	13,381	15,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,064	13,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用し、繰延税金資産の回収可能性を検討のうえ計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	1,006	4,557	2,349	4,222	2,474	14,610	1,112	15,722	—	15,722
海外	223	5,235	719	3,930	555	10,665	1,001	11,666	—	11,666
顧客との契約から生じる収益	1,229	9,793	3,068	8,153	3,029	25,275	2,113	27,388	—	27,388
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	1,229	9,793	3,068	8,153	3,029	25,275	2,113	27,388	—	27,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	76	37	2	0	126	557	683	△683	—
計	1,238	9,870	3,106	8,156	3,030	25,402	2,670	28,072	△683	27,388
セグメント利益又は損失 (△)	△8	219	106	708	308	1,334	125	1,460	—	1,460

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失(△)と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	1,052	6,300	2,484	5,195	2,738	17,771	1,017	18,789	—	18,789
海外	106	7,388	730	4,257	471	12,955	683	13,638	—	13,638
顧客との契約から生じる収益	1,158	13,688	3,215	9,453	3,210	30,726	1,700	32,427	—	32,427
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	1,158	13,688	3,215	9,453	3,210	30,726	1,700	32,427	—	32,427
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	43	40	6	1	123	541	664	△664	—
計	1,189	13,732	3,256	9,460	3,211	30,850	2,242	33,092	△664	32,427
セグメント利益又は損失 (△)	27	478	94	1,028	351	1,981	110	2,092	—	2,092

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失(△)と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。